

船橋市地域公共交通活性化協議会
第62回 2023/11/9

みんなで作る地域公共交通
—他市事例を踏まえた地域公共交通活性化協議会の
議論活発化への提言—

日本大学 理工学部長 交通システム工学科教授

轟 朝 幸

todoroki.tomoyuki@nihon-u.ac.jp



自主創造
日本大学

インターモーダリズム

利用者視点による
ハードとソフト施策

インターモーダリズムの概念 4C+E

- Connection, Choices, Coordination, Cooperation, Environment
- 総合交通の視点
- あらゆる交通手段の役割分担と円滑な相互連携
 - 公共交通, 自動車, 自転車, 歩行など
- 便利で早く効率的な乗り換え
- 複数の交通手段選択肢の提供
- 交通手段間の競争(効率化とサービス向上)
- 輸送手段・輸送サービスの質・安全性・効率性の向上のための組織間協力・協調

利用者本位のサービスの 実現にむけて

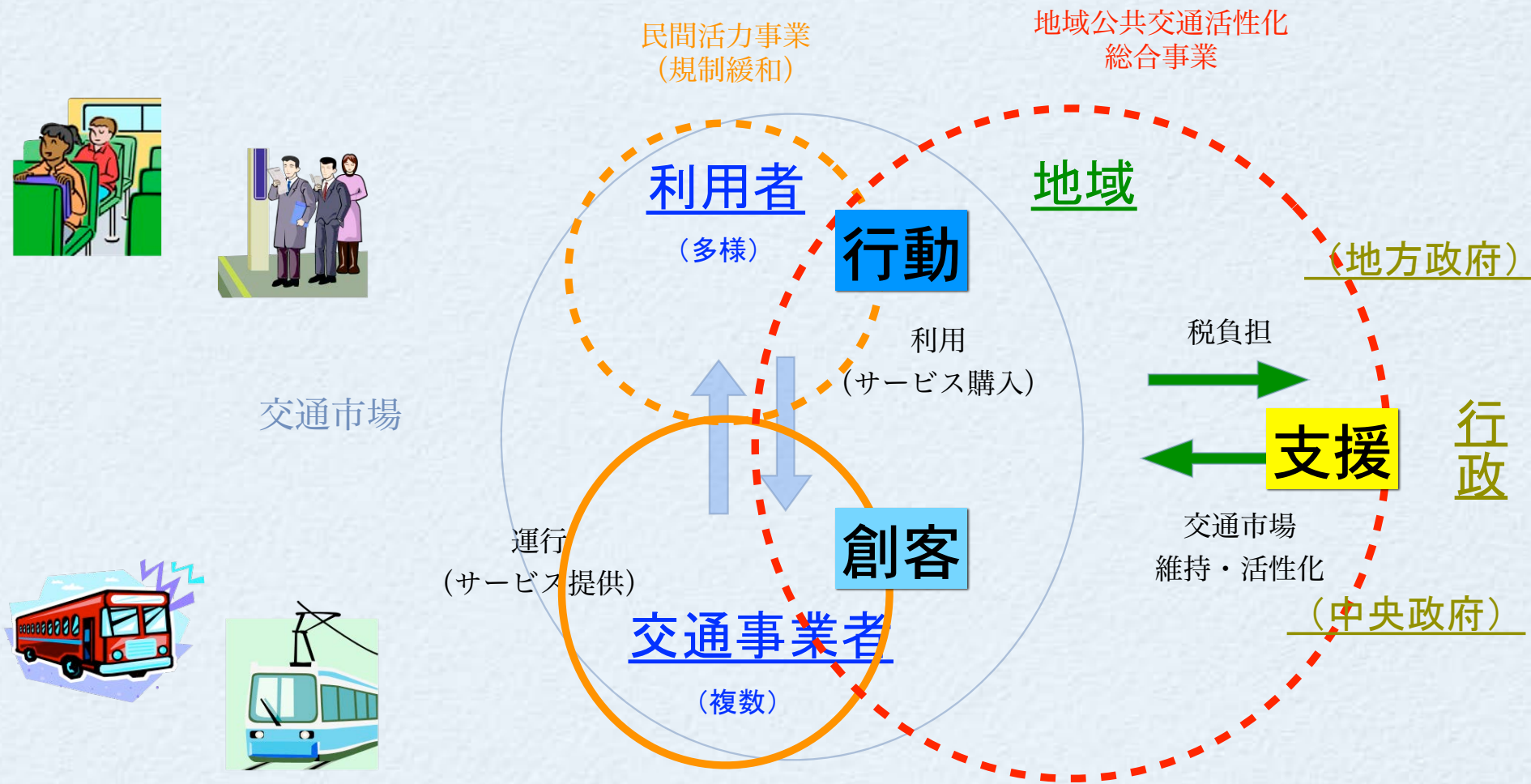
理 念

- インターモーダリティ
(利用者本位の総合交通体系の確立)

実現のポイント

- 地域公共交通ガバナンス
 - 施策を時空間的に組み合わせた総合施策
 - 住民・交通事業者・行政の役割分担と連携
- 地域と交通の連携
 - 都市政策や地域(地元)と連携
 - 自動車抑制策の検討
- 継続的改善
 - PDCAサイクル(とくにモニタリング)

交通にかかわる主体



多様な主体が介在

多様な主体間でコンフリクトや調整不足が存在

- 地域間
- 事業者間
- 自治体間
- 行政間
- ...



多様な主体が介在

主体間の対話・協議が重要

協議会の議論活発化

会議の運営

- 各議題では、地域住民や事業者などの関係者が補足説明して、その後に議論
- 資料は事前配付して、事務局説明は簡潔に
- 委員持ち回りで話題提供・・・地域や事業の課題や先進事例・他地域事例の紹介

会議外での交流活性化

- 地域の現場見学・乗車体験・住民などとの意見交換，他地域の視察など
- たまには，委員等交流会（会費制）も
- 委員等によるプロモーション活動・・・地域住民，地域企業，まちづくりNPOなどを巻き込んで

会議の意識改革

- 会議は議論する場
- 対面で顔をあわせながらの議論，会議前後で情報交換（雑談）が有効
- しゃんしゃん会議ならば効率的に運営・・・書面・オンライン開催など